2026/11

常陸太田市議会

Hitachiota 議会だより

No.186



主な内容

- 正副議長就任あいさつ
- 常任委員会等の構成
- 議案賛否一覧、一般質問
- 常任委員会審査
- 決算特別委員会審査
- 請願・議員提案審査結果等

議員の顔ぶれ
14・15ページ

写真：全議員集合写真
8月10日　初顔合わせ　議場

＼ 新たな正副議長が決定 ／

第４回臨時会（８月 21 日）において、議長・副議長の選挙が行われました。投票の結果、議長に深谷渉議員、副議長に小室信隆議員が当選しました。



副議長
小室　信隆

【主な略歴】市議４期
- 文教民生委員会委員長
- 予算特別委員会委員長
- 決算特別委員会委員長
- 茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員

等



議長
深谷　渉

【主な略歴】市議６期
- 副議長
- 総務委員会委員長
- 決算特別委員会委員長
- 議会改革推進会議副委員長
- 政治倫理条例調査特別委員会副委員長　等

正副議長就任あいさつ

このたび、令和８年第４回市議会臨時会におきまして、同僚議員各位のご推挙をいただき、議長、副議長に選出されました。その職責の重さに身が引き締まる思いであるとともに、市のさらなる発展に向けて決意を新たにしております。

いま、議会にはこれまで以上に信頼される「開かれた議会」への変革が求められています。私たちは透明性を高め、議論のプロセスを丁寧にお伝えするとともに、中立・公平・公正な議会運営に努めてまいります。

また、地方自治は、二元代表制のもとに成り立っております。議会は、市の最高意思決定機関としての誇りと責任を再認識し、執行機関と緊張ある関係を保持してまいります。市政への厳格な調査・監視・評価はもちろん、未来を見据えた積極的な「政策提言をする議会」としての機能を発揮してまいります。

これからも市民の皆様のご意見に真摯に耳を傾け、常陸太田市の輝かしい未来の実現に向けて、議員一丸となって全力を尽くしてまいります。今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。

新しい常任委員会等がスタート！

議会運営委員会



委員長	高星　勝幸		
副委員長	平山　晶邦		
委　員	菊池　勝美	諏訪　一則	
	森山　一政	鴨志田　悟	

総務建設委員会



委員長	鴨志田　悟		
副委員長	片根　志雄		
委　員	高星　勝幸	平山　晶邦	
	深谷　　渉	郡司　哲也	
	渡辺　博則	井坂　友哉	

教育福祉産業委員会



委員長	諏訪　一則		
副委員長	石川　　剛		
委　員	菊池　勝美	小室　信隆	
	森山　一政	梶間　郷士	
	会沢　　博	益子　大哉	

広　報　委　員　会



委員長	小室　信隆		
副委員長	石川　　剛		
委　員	片根　志雄	郡司　哲也	
	梶間　郷士	会沢　　博	
	井坂　友哉		

第4回臨時会・第5回定例会



上：深谷　渉 議長
下：藤田 謙二 市長

■提案理由説明（要旨）

第4回臨時会（8月21日）の提出議案は、補正予算1件、人事案件1件、第5回市議会定例会（9月1日から18日）の提出議案は、専決処分の報告6件、令和7年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告各1件、令和7年度一般会計予算継続費精算報告1件、条例の制定1件、条例の一部改正4件、建設工事請負契約1件、高規格救急自動車購入の契約1件、和解について1件、令和7年度歳入歳出決算認定8件、令和8年度補正予算4件、合わせて29件です。

また、議会最終日に研修用バス購入の契約及び災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入の契約各1件、人事案件2件を追加提案する予定です。



第4回臨時会・第5回定例会　議案賛否一覧

△全員賛成で可決等した議案▽

議案名		付託委員会	議決結果
第4回臨時会			
議案第45号	令和8年度常陸太田市一般会計補正予算（第2号）について	本会議	原案可決
議案第46号	常陸太田市監査委員の選任について	本会議	原案同意
第5回定例会			
議案第47号	常陸太田市原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の制定について	総務建設	原案可決
議案第48号	常陸太田市第三セクター振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について	総務建設	原案可決
議案第49号	常陸太田市印鑑条例の一部改正について	教育福祉産業	原案可決
議案第50号	常陸太田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	教育福祉産業	原案可決
議案第51号	常陸太田市と茨城県信用保証協会との損失補償金寄託契約に基づく回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の一部改正について	教育福祉産業	原案可決
議案第52号	常陸太田市新総合体育館外構工事（1工区）請負契約について	総務建設	原案可決

議案賛否一覧

議案名	付託委員会	議決結果
議案第53号　高規格救急自動車購入の契約について	総務建設	原案可決
議案第54号　和解について	総務建設	原案可決
議案第59号　令和7年度常陸太田市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算特別	及び案認可定決原
議案第60号　令和7年度常陸太田市工業用水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算特別	及び案認可定決原
議案第61号　令和7年度常陸太田市簡易水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算特別	及び案認可定決原
議案第62号　令和7年度常陸太田市下水道事業等会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算特別	及び案認可定決原
議案第63号　令和8年度常陸太田市一般会計補正予算（第3号）について	総務建設	原案可決
議案第64号　令和8年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	教育福祉産業	原案可決
議案第65号　令和8年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	教育福祉産業	原案可決
議案第66号　令和8年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	教育福祉産業	原案可決
議案第67号　研修用バス購入の契約について	本会議	原案可決
議案第68号　災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入の契約について	本会議	原案可決
議案第69号　常陸太田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	本会議	原案同意
議案第70号　人権擁護委員候補者の推薦につき同意を求めることについて	本会議	原案同意
請願第4号　教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	教育福祉産業	採択
議員提案第3号　教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書の提出について	本会議	原案可決
議員派遣について	本会議	原案可決
所管事務調査及び閉会中の継続調査について　3件（議会運営委員会、総務建設委員会、教育福祉産業委員会）	本会議	原案可決

△賛否の分かれた議案▽

議案名	付託委員会	審査結果	議決結果
議案第55号　令和7年度常陸太田市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定	原案認定
議案第56号　令和7年度常陸太田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定	原案認定
議案第57号　令和7年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定	原案認定
議案第58号　令和7年度常陸太田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定	原案認定
高星　勝幸		○	○
平山　晶邦		○	○
菊池　勝美		○	○
諏訪　一則		○	○
小室　信隆		○	○
森山　一政		○	○
鴨志田　悟		○	○
石川　剛		○	○
片根　志雄		○	○
郡司　哲也		○	○
梶間　郷士		×	×
会沢　博		○	○
渡辺　博則		○	○
益子　大哉		○	○
井坂　友哉		○	○

【○：賛成　×：反対　欠：欠席】

※議長の表決権：過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決か否決か決定することができる裁決権が認められています。



井坂　友哉
議員

問1 自動運転ＥＶバスの目標と財源は
問2 出産祝い金、導入の考えを問う

問1 自動運転ＥＶバスには、将来の運転手不足への対応や省人化への期待がある一方、多額の運行経費も必要となる。目標と評価指標を明確にし、その効果を検証することが重要と考える。これまでの成果と将来目標、持続可能な運営について伺いたい。

答1 **企画部長**　令和６年２月の運行開始から本年７月末までに延べ２万２１３８人が利用し、高齢者等の日常の移動手段としての利用も増えている。令和７年度の自動運転率は86・４％。将来的には、レベル４運行区間を段階的に拡大し、省人化につながる運行体制を目指す。今年度の運行委託料約９９８０万円のうち、国の交付金約４９９０万円、企業版ふるさと納税２０００万円を確保しており、今後も国への要望を行い、外部財源の確保や視察の有料化などに取り組む。

問2 茨城県が過疎地域を対象に出産祝い金への補助制度を創設した。これを機に、子育て世帯の経済的負担や当事者の声を踏まえ、本市でも出産祝い金を導入する考えはないか伺いたい。

答2 **保健福祉部長**　本市では、妊娠・出産時に各５万円を支給するほか、医療費助成、保育料の軽減、中学生までの給食費無償化、市立中学校の修学旅行費無償化など、妊娠期から子育て期にかけて、幅広く切れ目のない支援を行っている。現時点で出産祝い金を導入する予定はないが、他自治体の動向や導入効果について情報収集を行うとともに、費用対効果、将来的な財政負担、県事業の継続性などを踏まえ、引き続き調査研究する。

【井坂 友哉 議員　質問事項】
●自動運転ＥＶバスの事業評価と今後の在り方について
●子育て世帯への経済的支援について



石川　剛
議員

問1 移動困難な方に対して投票しやすい環境整備を
問2 災害時におけるトイレの確保・管理体制は

問1 投票所までの移動が困難であることが、投票の機会を失う要因となっていないか、現在の取り組みと課題をどのように認識しているか伺いたい。

答1 **総務部長**　現在、投票所までの移動が困難な高齢者の方などについては、乗合タクシーや路線バスを利用していただいたり、ご家族やお知合いの自動車で投票所へ移動しているものと推測する。投票に至らなかった理由が「移動が困難で投票に行くことが出来なかった。」とする有権者の実態把握に努め、議員発言のタクシー無料券等の導入ばかりでなく、特定の地域や場所に出向く移動式投票所の導入など、幅広に調査・研究していく。

問2 発災後に「トイレが足りない」「高齢者や障がいのある方が使えるトイレがない」という状況を生じさせないためにも、国の最新のガイドラインや過去の災害から得られた教訓を踏まえ、本市においてトイレの確保・管理のあり方等を伺いたい。

答2 **総務部長**　市地域防災計画に基づき、避難所における良好な生活環境を確保するため、これ迄の災害対応の経験等を踏まえ仮設トイレの確保や災害用トイレの備蓄を進めている。被災状況や避難者数等に応じて、それらを組み合わせて災害時に必要なトイレを確保するとともに、不足する場合には、災害協定を締結している事業者から仮設トイレを調達する。また、現在備蓄している仮設トイレ等は、手すりがなく段差もあるなど、高齢者や車いす利用者等への対応が課題であることから、要配慮者が利用しやすい災害用トイレについて、今後、調査・検討していく。

【石川　剛 議員　質問事項】
●投票率向上について
●災害に強い安心安全なまちづくりについて

※ QR コードを読み取ると、録画中継映像がご覧になれます。



片根　志雄
議員

問1　本市の児童生徒の学力や学習状況について
問2　学校教育における地域人材の活用について

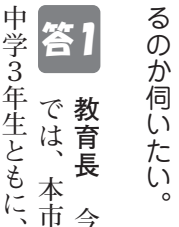
問1　全国学力・学習状況調査などから見えてきた本市の児童生徒の学力や学習状況について、現状をどのように捉えているのか伺いたい。

答1　**教育長**　今回の学力調査では、本市は小学6年生、中学3年生ともに、県平均と同等程度の結果であるが、経年変化でみてみると県平均との差が年々小さくなっている。そのため、基礎的な知識・技能の確実な定着と児童生徒間の学力差の解消が課題であり、主に算数・数学では、習熟度別指導やＡＩドリルを導入している。学力調査の正答率と学習状況の相関関係をみると、自ら課題を設定して学習に取り組む意識が高い生徒ほど正答率が高い傾向が見られ、児童生徒の個別最適な学びと、仲間との協働的な学びの双方を一体的に充実させる授業づくりを心掛けている。

問2　市立学校の魅力をさらに高めていくためには、地域が持っている力を学校教育に生かしていくことも重要だと考える。学校教育における地域人材の活用について伺いたい。

答2　**教育長**　峰山小では「天神林太鼓」を学び、誉田小ではぶどうの作業体験、里美小では里川に稚鮎を放流し、環境保全の重要性を学ぶなど、地域特性を活かした体験活動などが行われている。また、瑞竜中では、児童養護施設職員等などを講師に命の学習会や性教育講演会を実施し、外部人材の積極的活用を図り、学びを深めている。また、市内全中学校区にコミュニティスクールが設置され、地域内の人材の発掘と活用はより活発になっているが、地域内外において、これまで学校に接点がない人材をどのように発掘し、学校のニーズに合わせた活動を組み立てるかなど、他市町村との人材の連携などをすすめ、持続可能な体制づくりに努めていく。

【片根 志雄 議員　質問事項】
●市立学校の魅力向上に向けた取り組みについて



平山　晶邦
議員

問1　倒木被害や管理不全空き家の問題の責任は

問1　台風などの自然災害時に、倒木や管理不全空き家などによる倒壊などにより問題が発生した際の所有者の責任について伺いたい。

答1　**建設部長**　道路沿いの個人所有地に起因する管理不全の樹木や空き家によって、道路通行に支障をきたす事案は年々増加している。近年頻発化している台風などの襲来において、市や県などの道路管理者の対処するべき事案が集中するため、支障物の除去作業等に多大な労力と時間を要する状況となっている。過去2か年において、倒木により緊急措置として対応した件数は、令和7年度8件、令和8年度96件であり、空き家の所有者への指導件数は、令和7年度3件、令和8年度5件である。倒木や空き家の倒壊などにより問題が発生した時の責任の在り様は、民法717条において「土地の工作物の設置又は保存に瑕疵があることによって他人に損害を生じたときは、その工作物の所有者は、被害者に対してその損害を賠償する責任を負う。」とされており、管理不全の樹木や空き家などにより被害が発生した場合、所有者は被害者に対して損害賠償責任を負うこととなる。管理不全の倒木や空き家に対する市の対応に関して、道路については「道路法第43条」、空き家については「空家等対策の推進に関する特別措置法第14条」や「市空家等の適正管理に関する条例第6条」に基づき対策を講じる。これらに応じない場合は、段階を踏んで行政代執行等の強い措置やそれに要した費用の所有者への請求も検討することとしている。これらの対応については、市報やホームページに掲載し、所有者が責任を負うことの周知を図っていく。

【平山 晶邦 議員　質問事項】
●自然災害時の倒木と管理不全空き家が破損し派生する障害物の対応について

※ QR コードを読み取ると、録画中継映像がご覧になれます。



郡司　哲也
議員

問1　マタニティタクシーの導入について
問2　地域猫活動及び多頭飼育問題の対応について

問1　本市には分娩を取り扱う医療機関がなく、妊婦の多くが市外の医療機関へ通院している。市街地からは約30分、山間地域からは約60分を要するなど、地域により移動の負担も異なる。妊婦健診や出産時の入退院、産婦健診など、通常時の移動を支援するため、マタニティタクシー助成を導入の考えと安心して妊娠・出産できる環境づくりについて伺いたい。

答1　**保健福祉部長**　安心して子どもを産み育てられる環境づくりは重要な課題と認識している。妊娠届出時の面談などで家族のサポート状況や経済面を含めて確認し、必要な支援につなげている。マタニティタクシー助成については、本市のニーズを把握するとともに、導入自治体の利用実態や効果、課題などを情報収集し、引き続き調査研究していく。

問2　ＴＮＲ（飼い主のいない猫を捕獲し、不妊・去勢手術を行った後、元の場所に戻す）活動を進める上で、捕獲器を確保できず不妊・去勢手術につながらないケースがある。必要な時に利用できるよう、市による捕獲器の貸出体制を整備する考えは。また多頭飼育は、飼い主の高齢化や経済的事情など複数の要因が重なり、猫の増加だけでなく飼い主の生活にも関わる問題である。深刻化を防ぐため、今後の地域猫活動及び多頭飼育問題の対応について伺いたい。

答2　**市民生活部長**　捕獲できないケースもあり、市による捕獲器の貸出制度については、他市町村の事例を参考に検討する。多頭飼育問題については、県や福祉部門と協議し、必要に応じて不妊・去勢手術につなげるなど、今後も県及び関係部局と連携し、地域や住民からの相談に応じて適切に対応していく。

【郡司 哲也 議員　質問事項】
- ●地域防災力の強化について
- ●安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて
- ●人と動物が共生する地域づくりについて



諏訪　一則
議員

問1　自然災害から市民の命と暮らしを守るために

問1-1　早期避難を確保するための体制について伺いたい。

答1-1　**総務部長**　台風や大雨などにより災害発生のおそれが高まった早い段階から、避難体制を整えることとしている。具体的には、市内21か所の避難所にあらかじめ担当職員を指定し、平時から施設管理者等と開設手順や施設の使用方法などを確認している。また、高齢者等避難や避難指示などの発令にあたっては、水戸地方気象台からの気象情報や気象台長とのホットラインを活用するとともに、市内44か所に設置している「ワンコイン浸水センサー」により浸水状況を把握し、早期の避難判断につなげている。さらに、毎年、風水害対応住民避難訓練を実施し、避難所や避難経路、避難のタイミングなどを市民に確認していただくことで、避難行動力の向上を図っている。

問1-2　避難所において、支援を必要とする方への支援体制について伺いたい。

答1-2　**総務部長**　避難支援個別計画を活用し、自主防災組織や避難支援者等と避難訓練を実施することで、避難経路や避難方法、支援者の役割などを確認している。また、災害時には「電話一斉配信システム」を活用し、避難支援者へ必要な情報を伝達するとともに、それぞれの支援状況を集約することで、避難行動要支援者の避難状況を迅速に把握し、必要な支援につなげる体制を整えている。



【諏訪 一則 議員　質問事項】
- ●自然災害から市民の命と暮らしを守るための事前の備えについて

※ QR コードを読み取ると、録画中継映像がご覧になれます。



梶間　郷士
議員

問1　老朽化した農業用水路の状況と今後の対応は
問2　県道常陸那珂港山方線の整備状況は

問1　担い手へ農地の集積が進んでいるが、農業用水路の老朽化によって、水田の水管理が困難な水田は不耕作地になる。市としても稲作の基盤である農業用水路の確保について伺いたい。

答1　**農政部長**　農業用水路の維持管理は、土地改良区や水利組合に加え、国の制度である「多面的機能支払交付金」は19組織、「中山間地域等直接支払交付金」は29組織において、地域による農地の保全管理等が行われ、これ以外の地域には、修繕のため原材料を支給し維持管理を支援している。多くの地域で2制度が活用されるよう、制度の周知と地域への伴走支援を行い、農業用水路の適切な維持管理と長寿命化を図り、農業者が安心して営農できる環境の確保に努める。

問2　県道常陸那珂港山方線について、県主催の地元説明会を聞いた住民からは、長期にわたる工事見込に対し、早期実現の強い要望が上がっており、早期実現に向けて所見を伺いたい。

答2　**建設部長**　県道常陸那珂港山方線は、地域の経済や産業の発展を支える重要な路線である。整備状況は現在、県では下宮河内町の約1・9㎞区間を整備中、事業進捗率は事業費ベースで約4割、今年度から橋梁工事を進めている。県主催の地元説明会を本年2月に開催し、下利員町から中利員町までの延長約1・9㎞区間について、本年度は測量を行っていく。市では、事業主体である県へ本路線の必要性、重要性を訴え続けることが、早期完成に繋がると認識しており、引き続き、市長を先頭に県に対して整備促進を要望する。

【梶間 郷士 議員　質問事項】
●市の平和事業について　●公共交通について
●加齢性難聴者への補聴器購入助成について
●農業の推進について
●県道常陸那珂港山方線の整備について



渡辺　博則
議員

問1　自動運転ＥＶバスの安全と地域展開

問1-1　自動運転ＥＶバスは、5月20日からシステムメンテナンスを理由に代車での運行が続く。長期化の理由とメンテナンスで確認する内容や改善点、運行再開の見通し、また、事業への影響をどう評価し、運行事業者にどのような対応を求めているのか伺いたい。

答1-1　**企画部長**　5月19日に発生したバス停表示板への接触事故に対する安全確保に向けた運行システムのメンテナンスを行なっている。国土交通省の指示のもと、原因となったエラーだけではなく、約７００のエラーコード全てについて異常発生時の対応手順を技術・運用の両面から再確認をしている。メンテナンス後は、システムの安定性・精度が高まり、異常時の対応を含め、より安全で安定した運行につながると考える。再開時期は現時点で明示できないが、安全確認後、速やかな再開に向け調整する。市は今回の対応を実証段階における課程の一つと捉え、運行事業者から国との協議状況を日々確認している。

問1-2　金砂郷・水府・里美地区では、買い物や通院の移動手段確保が課題である。様々なデータや知見を蓄積していく事が重要ならば、条件が整った中心市街地での実証だけでなく、各地区において既存のバスや乗合タクシーとの接続、候補区間の調査を含め、自動運転ＥＶバスの実証や運行を検討する考えがあるのか伺いたい。

答1-2　**企画部長**　まず現在のルートで定常運行による実証を継続し、データや知見を収集する。金砂郷・水府・里美地区の運行は、安全性や運行条件、地域のニーズ、既存の公共交通の組み合わせを考慮しながら検討する。

【渡辺 博則 議員　質問事項】
●自動運転ＥＶバスについて

※ QR コードを読み取ると、録画中継映像がご覧になれます。



鴨志田　悟
議員

問1 「第7次総合計画」の基本構想を問う
問2 中学校の登下校時の安全確保の対策は

問1 今後10年間の行政運営の基本方針となる「常陸太田市第7次総合計画」は、来年3月を目途に策定が進められている。そこで、総合計画の大綱となる基本構想の策定について伺いたい。

答1 **企画部長**　「将来のあるべき姿」の策定過程については、「人と人とのつながりや地域資源を強みとして活かし、次の世代へつないでいくこと」「市民が安心して暮らし続けられること」「若い世代に選ばれ、将来戻ってきたいと思える地域であること」「市民一人一人が愛着と誇りを持てること」などを大切な視点とし、市民アンケート等の市民の意見や、学識経験者や市民の代表など15名で構成される総合計画審議会での審議結果等を取り入れながら、実効性のある計画となるように策定を進めている。

問2-1 中学校の通学路の安全点検について伺いたい。

答2-1 **教育部長**　令和7年度は、中学校から4件の危険個所の報告があり、路面標示設置など関係機関と調整中2件、安全指導やパトロール強化が2件の対応。令和8年度は、9件の新規報告があり、3件について改善が必要とされ警察や道路設置者に対応をお願いしたところである。引き続き、関係機関と連携し、危険箇所の改善に取り組むとともに、安全な通学路の確保に努める。

問2-2 自転車用ヘルメット購入の補助について伺いたい。

答2-2 **教育部長**　これまでの各種支援や施策全体を踏まえ、今後は、他市の事例等も参考にしながら補助制度の必要性について研究する。

【鴨志田 悟 議員　質問事項】
●第7次総合計画について
●中学生の登下校の安全確保について



益子　大哉
議員

問1 住宅支援策と空き家対策の効果
問2 JT跡地の住宅整備の今後

問1 住宅取得促進助成制度や新婚家庭家賃助成制度の令和5年度から令和7年度までの実績と転入促進への効果を伺いたい。また、空き家・空き地バンクの成約状況や未成約への対策について伺いたい。

答1 **企画部長**　住宅取得促進助成の利用件数は、上限額引き上げ等により、令和5年度36件、令和6年度36件、令和7年度58件と増加し、転入者数も令和5年度37人、令和6年度47人、令和7年度84人と増加している。新婚家庭家賃助成制度の利用件数は、婚姻数の減少等により令和5年度57件、令和6年度45件、令和7年度29件（転入者数は84人、61人、41人）と減少しているが、助成終了世帯の約6割が現在も定住しており、両制度は転入・定住促進に一定の効果があると評価している。空き家・空き地バンクは登録・契約件数ともに増加し、制度開始からの成約率は71・9％と高い状況である。未成約物件に対しては利用者のスムーズな手続きと、多様なニーズに応える相談体制の強化に努める。

問2 事業者公募が不調となった原因を踏まえた現在の課題と、多額の公費を投じる中での試算や今後の見通しについて伺いたい。

答2 **企画部長**　JT跡地に埋設されている地中杭の撤去や埋蔵文化財の発掘費用等に加え、昨今の住宅需要の落ち込みが整備を進める上での課題と認識している。現時点で定住人口や税収等の定量的試算は実施していないが、住宅整備に係る再公募の実施も含め、「少子化・人口減少対策に資する土地活用」という目的を踏まえた有効な活用策について見極めていく必要があると考えている。

【益子 大哉 議員　質問事項】
●人口減少社会を見据えた住宅・土地政策について

※ QR コードを読み取ると、録画中継映像がご覧になれます。

総務建設委員会

総務建設委員会では、条例の制定1件、条例の一部改正1件、工事請負契約1件、高規格救急自動車購入の契約1件、和解について1件、補正予算1件、合計6件の審査を行い、付託された6議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第52号　常陸太田市新総合体育館外構工事（1工区）請負契約について
（令和8年6月25日付けで一般競争入札に付した常陸太田市新総合体育館外構工事（1工区）の請負契約を締結するもの）

問　体育館が源氏川付近の低地に建築されることを踏まえ、雨水対策について伺いたい。

答　雨水は施設内の側溝で集水したのち、多目的運動広場を経由して北側の地下貯留槽に流入し、そこから流量を調整しながら源氏川へ放流する構造になっている。

議案第63号　令和8年度常陸太田市一般会計補正予算（第3号）について
（一般会計歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億6164万3千円を追加し、総額を326億5762万5千円とするもの）

問　衛生費の「物価高騰対応指定ごみ袋配布事業」について、物価高騰対策として様々な支援方法が考えられる中、今回、指定のごみ袋の配布という手法を選択した理由や目的について伺いたい。

答　昨今のナフサ不足によるビニール製品の価格高騰を受け、当初予算内では指定ごみ袋の必要枚数の確保が困難となったため、国の交付金を活用して必要枚数を確保し、物価高騰の影響を受けた市民を支援するために全世帯へ無料配布する。



【委員会構成】
委員長　鴨志田　悟
副委員長　片根　志雄
委　員　井坂　友哉
〃　渡辺　博則
委　員　郡司　哲也
〃　深谷　渉
〃　平山　晶邦
〃　高星　勝幸

教育福祉産業委員会

教育福祉産業委員会では、条例の一部改正3件、補正予算3件、請願1件、合計7件の審査を行い、付託された6議案を全会一致により原案可決すべきものと決定、請願1件を全会一致により採択すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第49号　常陸太田市印鑑条例の一部改正について
（出入国管理及び難民認定法等の一部を改正する法律が令和6年6月21日に公布され、その一部が令和8年6月14日から施行されたこと等に伴い、本条例の一部改正を行うもの）

問　対象外国人住民の現状と制度の推移、また対象外国人住民への周知方法や事業者等との連携について伺いたい。

答　本制度は令和6年6月14日に運用開始した新制度で、対象者は現在4人。周知は、日本語案内に加え、デジタル庁・入管庁の多言語リーフレットを活用する。市内の外国人住民は技能実習・特定技能の方が多く、受け入れ企業と連携しながら、国の多言語資料を活用し、利便性の高いサービス提供に努める。

議案第50号　常陸太田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び常陸太田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律が令和6年6月26日に公布され、令和8年12月25日から施行されることに伴い、関係条例の一部改正を行うもの）

問　児童対象性暴力等の防止に関する具体的な措置について伺いたい。

答　法務省など国の関係機関と連携し、従事者全員を対象に性犯罪事実の確認を実施。あわせて、保護者・児童・従業員との面談等により、懸念される状況がないか確認し、施設内に相談窓口等の体制を整備する。性犯罪事実が確認された従事者がいた場合は、児童との接触を回避するなど必要な措置を講じる。国の「子ども性暴力防止法施行ガイドライン」を基準に実施していく。

【委員会構成】
委員長　諏訪　一則
副委員長　石川　剛
委　員　梶間　郷士
〃　益子　大哉
〃　森山　一政
〃　会沢　博
〃　小室　信隆
〃　菊池　勝美

決算特別委員会を開催

－ 令和７年度一般会計・特別会計３件・企業会計４件を審査－

決算に関する議案第 55 号から議案第 62 号までを審査するため、決算特別委員会が 9 月 7 日に設置されました。議長と議会選出監査委員を除く 14 人の議員が委員に選任され、9 月 14 日と 15 日の 2 日間にわたり、令和 7 年度の各会計決算について、一般会計については、歳入 299 億 4,616 万 9,149 円、歳出 288 億 1,279 万 866 円、歳入歳出差引額 11 億 3,337 万 8,283 円について審査いたしました。

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計については賛成多数により原案認定すべきものと決定、水道事業会計、工業用水道事業会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計は全会一致により原案可決及び認定すべきものと決定しました。



委 員 長　鴨志田　悟
副委員長　片根　志雄

－ 質疑内容（一部抜粋） －

問　ふるさと常陸太田基金繰入金について、令和７年度に令和６年度分のふるさと納税による寄付金が繰り入れされていると思うが、どのように活用されたのか、主な事業について伺いたい。

答　寄付金は、寄付者が４つの項目から使いみちを選択することができる。「未来を担う人づくり」については、定住促進助成事業、じょうづるはうすの運営事業、子育てサポート事業及び小学校や中学校の教育振興事業など、「自然を活かしたまちづくり」については、林業振興事業やふるさとの森管理事業など、「歴史・文化を活かしたまちづくり」については、指定文化財公開事業、郷土資料館管理事業及び市民交流センター管理事業など、「地域の元気づくり」については、乳製品商品化推進事業、各種イベント開催の補助事業及び地区観光施設管理整備事業などに活用している。

問　販路拡大促進事業について、令和７年度の観光果樹園誘客アプリ「KAJUAL」の新規ダウンロード数や登録者数の推移、アプリによる販売促進の成果や課題について伺いたい。

答　令和7年度におけるアプリの総アクセス数は76万7,240件、前年比16万7,000件の増。ダウンロード数は9,468件、前年比1,740件の増となっている。成果としては、利用者からは「販売時期や場所に迷わず行ける」「販売品種を前もって確認できる」と好評を得ており、果樹園からは「KAJUALを利用した新規のお客様が増えた」「販売に対する電話対応が減り、作業効率が上がった」と、誘客以外の評価も得ている。課題としては、開園状況など果樹園に直接入力していただく必要がある部分において、操作忘れや繁忙期の忙しさにより、情報の更新が遅れてしまう点である。現在は、操作研修会の実施やタイマー機能の活用の推奨などの対応を進めている。



＼ 峰山中の生徒が議会傍聴 ／

9月3日の一般質問を、峰山中学校3年生の生徒35名の皆さんが傍聴しました。



＼ 世矢小の児童が議場見学 ／

9月25日、世矢小学校3年生の児童22名の皆さんが、授業の一環で議場を見学しました。



令和８年第５回市議会定例会請願・議員提案審査結果

請　　願

件　　名	提　　出　　者	結　果
【請願第４号】 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	茨城県教職員組合 執行委員長　井坂 功一　外 187 名 【紹介議員】鴨志田　悟	採　択

議員提案

件　　名	提　　出　　者	結　果
【議員提案第３号】 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書の提出について	提出者 諏訪　一則 賛成者 石川　剛　菊池　勝美　小室　信隆 森山　一政　梶間　郷士　会沢　博 益子　大哉	原案可決

意見書を提出しました

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書

学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働や未配置など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、教職員定数改善が不可欠です。

給特法等改正を受け、義務標準法が改正され、小学校に続き中学校の学級編制標準は 2028 年度までに 35 人に引き下げられます。今後は、高等学校での早期実施と、きめ細かい教育活動をすすめるために、さらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です。また、学校の働き方改革は教育委員会作成の業務量管理・健康確保措置実施計画によりすすめられますが、「３分類」にかかわらず業務の外部移行・委託を行うための国による自治体への財政措置等が不可欠です。

厳しい財政状況の中、独自財源により人的配置等を行っている自治体もありますが、自治体間の教育格差が生じることは大きな問題です。義務教育費国庫負担制度については、2006 年度に国庫負担率が２分の１から３分の１に引き下げられました。国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、ゆたかな子どもの学びを保障するためにも国庫負担制度の堅持、さらには国庫負担率２分の１への復元が必要です。

こうした観点から、国会及び政府におかれましては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政をすすめることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要望します。

記

１．学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
２．教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財源を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
３．自治体が実効性のある働き方改革を実行するために必要な予算措置を講じること。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

行政視察にお越しいただきました



月　日	議会名	主な視察項目
７月８日	島根県出雲市議会	移住・定住支援施策について
７月17日	京都府舞鶴市議会	市内経済の発展に関連する先進的事業（自動運転 EV バス定常運行の取組）について

7月26日、任期満了に伴う常陸太田市議会議員一般選挙が行われ、新しい16名の議員が決定しました。今号の特集では、新議員の顔ぶれとともに、それぞれの「議員としての抱負」をご紹介します。新たな決意を胸に始動した議員の声を、ぜひご覧ください。新しくなった議会を、より身近に感じていただければ幸いです。



高星 勝幸（たかほし かつゆき） 議員

これまでの経験を礎に、議員同士の対話と調和を大切にし、市民の声に寄り添いながら、市政の発展に努めてまいります。皆さまとともに「もっと住みたくなる常陸太田」を目指します。



平山 晶邦（ひらやま まさくに） 議員

20年以上議員を務めています。本市の課題・問題は理解しています。その課題・問題を少しでも前に進めるために、これからの4年間も誠実に即実行で活動してまいります。



森山 一政（もりやま かずまさ） 議員

人口減少の打破に挑み、少子化を食い止め、誰もが安心安全に暮らせる常陸太田市を目指します。市民の皆様の声を真摯に受け止め、活力ある未来へ向けて全力で邁進いたします。



鴨志田 悟（かもしだ さとる） 議員

子育てしやすいまち、若者の意見が反映されるまち、生きがいのあるまち、お年寄りが安心して暮らせるまち、常陸太田市が多くの方に選ばれるまちになるために、私は全力投球します。



郡司 哲也（ぐんじ たかなり） 議員

地域の声に耳を傾け、一人ひとりの暮らしに寄り添いながら、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。現場を大切に、対話と行動を重ねてまいります。



梶間 郷士（かじま さとし） 議員

初めて議会へ送り出していただきました。格差拡大、人口減少の今こそ自治体の使命である住民福祉の向上が大切です。議会に市民の声を届け、命と暮らしを守る常陸太田市を目指します。



益子 大哉（ましこ だいや） 議員

ダイヤよりも輝く常陸太田市を目指し、地域の課題と持続可能な未来へ向けて全力で走り抜けます。皆様との対話を大切に、初心を忘れずに行動する議員として誠心誠意尽力してまいります。



井坂 友哉（いさか ともや） 議員

初めての議会で、入念な準備と具体的な提案こそが議論を動かすと実感しました。できない理由よりできる方法を考え、挑戦します。20年後の常陸太田を見据え、地道に取り組んでまいります。

16名の新しい常陸太田市議会が始動！



深谷（ふかや）　渉（わたる）　議長

市民との対話を大切にし、多様な声を市政に届けるとともに、さらに議会での議論を深め、政策提言のできる議会を目指し、「選ばれるまち」「住み続けたいまち」になる為に全力で働きます。



小室（こむろ）　信隆（のぶたか）　副議長

市民の皆様が笑顔で生活できるまちづくりのため、安心安全で子育てがしやすく健康寿命の増進を目指し、人と人の連携を大切にして生きがいのある地域づくりに努めてまいります。



菊池（きくち）　勝美（かつみ）　議員

市民全員が「住んでよかった」→「やっぱり住んでいてよかった」と言えるように、皆さんと一緒になって住みよい街をつくります。私の信条「地域の声を大切に‼」を終生の政治モットーとして。



諏訪（すわ）　一則（かずのり）　議員

市民の声に真摯に耳を傾け、対話を大切にしながら、安心して暮らせるまちづくりを目指します。現場を歩き、課題を一つひとつ解決し、未来につながる市政を実現するよう努力します。



石川（いしかわ）　剛（つよし）　議員

市民の皆様の声を大切に、誰もがこの地域で安心して過ごすことがあたり前である地域社会の構築を考え、責任を持って「今」に向き合い、「これから」を切り拓いてまいります。



片根（かたね）　志雄（ゆきお）　議員

美しい人が住むまち常陸太田市で、子育て・教育の充実と健康で生きがいを持てる社会を目指します。市民の皆様の声に寄り添い、全世代が笑顔で輝き続けられる未来へと全力で挑みます。



会沢（あいざわ）　博（ひろし）　議員

常に市民目線を大切にし、皆様の声に真摯に耳を傾け、子どもから高齢者まで誰もが安心して笑顔で暮らせる、活力と希望に満ちたまちづくりに全力で取り組んでまいります。



渡辺（わたなべ）　博則（ひろのり）　議員

「子育ても、老後も、このまちでずっと。」を胸に、皆様の声を大切にし、もっと暮らしやすい常陸太田を目指して、一つひとつの課題に誠実に取り組んでまいります。

発行
常陸太田市議会　発行責任者　議長　深谷　渉
〒313-8611　茨城県常陸太田市金井町3690
電話 0294(72)3111(内線432)　FAX 0294(73)1119

12月定例会会期日程（予定）

※開会はすべて午前10時からです。

12月1日（火）開会・議案説明
3日（木）一般質問
4日（金）一般質問
7日（月）議案質疑
9日（水）総務建設委員会
10日（木）教育福祉産業委員会
15日（火）委員長報告・採決・閉会

市ホームページ



議会運営委員会

7月15日に第4回臨時会の運営や第5回定例会の会期等について審議を行った。8月21日には、第5回定例会の第1日の日程、議案等委員会付託、一般質問・議案質疑の通告期限、一般質問の発言方法・時間制限及び決算特別委員会の設置等について審議し、9月1日に一般質問通告者について、9月15日には最終日の日程、追加議案等について審議を行った。



委員長	高星	勝幸	副委員長	平山	晶邦
委員	菊池	勝美	委員	諏訪	一則
〃	森山	一政	〃	鴨志田	悟

議会日誌

7月8日	島根県出雲市議会行政視察来市
15日	常陸太田市条例表彰式／議会運営委員会／広報委員会
17日	京都府舞鶴市議会行政視察来市
26日	常陸太田市議会議員一般選挙
27日	新任議員議会運営等説明会
8月6日	新任議員研修会
7日	新任議員研修会
10日	初顔合わせ・全員協議会／新任議員議会運営等説明会
18日	全員協議会
21日	臨時会／総務建設委員会／教育福祉産業委員会／議会運営委員会／全員協議会
9月1日	本会議（開会・議案説明）／総務建設委員会協議会／議会運営委員会
3日	本会議（一般質問）／峰山中学校3年生議会傍聴
4日	本会議（一般質問）
7日	本会議（議案質疑）／決算特別委員会／総務建設委員会協議会／教育福祉産業委員会協議会
9日	総務建設委員会
10日	教育福祉産業委員会
14日	決算特別委員会
15日	決算特別委員会／議会運営委員会／全員協議会
18日	本会議（委員長報告・採決・閉会）／広報委員会
25日	世矢小学校3年生議場見学

熊本県へ義援金を送りました

令和8年熊本地震により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

常陸太田市議会議員全員の総意により、被災地における復旧・復興にお役立ていただくため、令和8年9月2日に義援金として16万円を送りました。

編集後記

議会だより第186号では、令和8年第4回臨時会・第5回定例会の主な内容を掲載いたしました。市民の皆様の暮らしに直結する重要な議案や、地域の未来に向けた活発な一般質問の様子をお届けできたことと存じます。

さて、新体制となった広報委員会にとって、本号が初めての編集・発行となります。慣れない作業に試行錯誤の連続でしたが、市政の動きをより分かりやすく、身近に感じていただける紙面づくりを心掛け、一歩を踏み出しました。

11月を迎え、市内は竜神峡の鮮やかな紅葉や、豊かな実りを感じる新そばの香りに包まれる美しい季節を迎えております。季節の変わり目ですので、どうぞお体を大切に、暖かくしてお過ごしください。

これからも皆様の声に耳を傾け、議会の動きを分かりやすくお伝えできるよう広報委員一同全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

広報委員会

委員長　小室　信隆
副委員長　石川　剛
委員　片根　志雄
〃　郡司　哲也
〃　梶間　郷士
〃　会沢　博
〃　井坂　友哉